

最近のできごと

1. 極低温科学センター見学

平成21年7月14日に向山高校生42名が低温物理学部を訪れました。液体窒素を使った気体の収縮実験、高温超伝導体の磁気浮上実験などを見学しました。また低温科学部のヘリウム液化設備を見学しました。

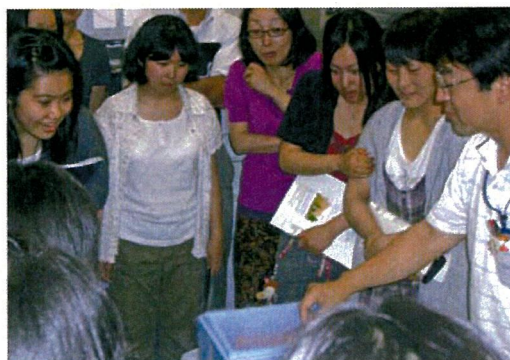


図1. 液体窒素を使った実験を見学。



図2. 低温科学部のヘリウム液化設備の見学。左端のタンクは3000リットル液体ヘリウム用貯槽。

2. 一般公開

平成21年10月11、12日に片平キャンパスにおいて片平祭りが開催されました。片平祭りは片平地区の研究所群の研究活動を一般の人たちに知ってもらうため隔年開催されています。低温科学部の

教員も金研一般公開の体験型イベント「不思議能力超伝導」に参加しました。



図3. 液体窒素を使った体験型イベント。

3. 出前授業

平成21年3月14日には、低温科学部の中村慎太郎助教が宮城学院高等学校で、また平成21年7月10日には、極低温物理学部の木村憲彰助教が仙台東高等学校で、それぞれ出前授業の講師として「極低温の世界」と題した授業を行いました。授業に参加した高校生は、低温でおきる不思議な物理現象に驚き、講師の講義を熱心に聞き入っていました。